



守屋多々志作「大垣城」



発行：大垣市議会 編集：市議会だより編集委員会

大垣市民の誓い

私たちは 水を生かし
緑を広げ 安全に努め
心を育て 助け合います

<インターネットURL>

大垣市議会

検索

4月にオープンした北幼保園



第1回市議会定例会

平成26年度

当初予算などを可決

第1回市議会定例会を3月3日から19日までの日程で開催しました。

初日には田口義嘉壽氏に「大垣市名誉市民の称号を贈り、名誉市民章を授与すること」など7議案を先議、市長から平成26年度一般会計予算など44議案について提案説明を受けました。

10日には12名の議員が一般質問を行い、12日から18日には各委員会において付託議案の審査を慎重に行いました。

19日には、市長提出議案43議案、議員提出議案4議案を可決、閉会しました。

定例会目程

3月3日	本会議 (提案説明)
10日	本会議 (一般質問)
12日	子育て支援日本一対策委員会 市民病院に関する委員会
13日	建設環境委員会
14日	経済産業委員会
17日	文教厚生委員会
18日	企画総務委員会
19日	議会運営委員会、本会議

平成26年度の重点プロジェクトと主な事業

「地域活力創造」

市街化区域に転入される中学生以下の子どもを持つ世帯に対して、住宅の新築等に係る借入金の利子補給を行い、子育て世代の定住を支援する。

「安全・安心」

災害時に高齢者や障がい者などの安全を確保するため、要援護者の避難行動支援体制の構築を図り、要援護者情報を一元管理するシステムを導入する。

「環境・エネルギー」

災害時の電力供給源とするため、宇留生小学校屋内運動場と東中学校北舎に太陽光発電設備を設置するとともに、地中熱ヒートポンプや蓄電池を導入する。

「子育て日本一」

平成27年度から全ての小中学校で「ふるさと大垣」を教科として新設するため、授業で使用するテキストを作成する。

「かがやきライフ」

2市9町を自転車で巡る「ツール・ド・西美濃」のイベントで、大垣商工会議所、大垣青年会議所、西濃圏域の各自治体と協働することにより、サイクリングを通じて地域の魅力を内外に情報発信する。

可決された主な議案

平成26年度当初予算

一般会計が566億9000万円、前年度比2.4%増、特別会計は481億9700万円、1.7%増、企業会計は376億1000万円、7.0%増、総額1424億8800万円、3.3%の増となっている。

補正予算

市道上の橋りょう、舗装、歩道橋などを点検するための交通安全施設安全対策事業費700万円、江西川の護岸改修事業費1億4800万円、宇留生小学校の屋内運動場改築事業費5億2400万円、東中学校の北舎改築事業費6億3400万円等を計上。

条例等

◇大垣市老人医療費助成金条例の一部改正

国の特例の廃止に対応するため、老人医療費助成の対象年齢を段階的に見直すもの。

◇大垣市消防団条例の一部改正

消防団員の人数確保を図るため、消防団への入団要件を拡大し、市内に勤務する者を対象とするもの。

意見書

◇患者数が特に少ない希少疾病用医薬品(ウルトラ・オーファンドラッグ)の開発促進・支援のための法整備等を求める意見書

◇食の安全・安心の確立を求める意見書

◇微小粒子物質(PM2.5)に係る総合的な対策の推進を求める意見書

◇雇用の安定を求める意見書

一般質問

3月10日に
一般質問を
行いました

「垣老」制度の対象年齢 について

笹田トヨ子

質問・・・70から74歳の医療費窓口負担が2割になるため、70から72歳を垣老の対象にしたことは評価できるが、67から68歳を対象外にしたのは制度の後退である。1割補助ならば、3年間は今までの予算規模で対応できるはずである。67から68歳を対象外とすることなく74歳までを対象とすることを求める。

答弁・・・大垣市老人医療費助成制度（垣老）は、高齢者の保健の向上に寄与するとともに、高齢者福祉の増進を図ることを目的として、昭和46年にスタートした本市独自の制度である。

国においては、70歳代前半の医療機関等での窓口負担割合が、平成26年4月以降に70歳になる方から、1割から2割に変わることが予定されている。垣老の見直しにあたっては、本市独自の制度をいか

に維持すべきかという観点から検討を進めた。67から68歳を対象からはずしたところについては、対象年齢を70歳代に引き上げるためにも、60歳代の対象年齢の見直しをした。また、72歳までにしたのは、今後、医療費が膨張することが予想され、国の制度改正などの動向や市の財政状況、経済情勢等が不透明なため、今回の改正案となった。

高齢者の見守りにICT 技術の積極的な導入を

田中孝典

質問・・・高齢者の単独または夫婦だけの世帯が10年間で1・6倍になり、孤独死や孤独事故が増えている。人的な見守り体制の整備に加えて、様々なセンサー技術を組み合わせたICT機器を導入した見守り体制を整備するよう提案する。情報都市・大垣にとって重要な施策となる。市の見解は。

答弁・・・本市では、地域のボランティアが一日一声かける愛の一声運動事業、配達時に安否を確認する配食サービス事業、ボタン一つで消防署に通報できる緊急通報体制整備事業などを実施している。また、社会福祉協議会においては、地域住民が主体となって、新聞販売店、金融機関など26の事

業所と連携した見守り活動を実施していただいている。ICTを利用した見守り機器の導入については、高齢化社会が進む中、これまでにのりと人とのつながりを中心とした見守り支援のほか、屋内において人の動きを検知する人感センサーも見守り手段の一つと考えられる。今後も見守り支援の事業を継続しながら、ICTによる人感センサーの活用について事例を調査し、実効性などを検討していく。

図書館について

岡田まさあき

質問・・・全国の図書館で改革が進む中、ビジネス支援や空間の活用など、読書をより楽しく、より多く利用してもらう工夫が司書に求められている。大垣駅前分館や児童図書館の新設など、方針・計画づくりが必要である。また、図書館運営の自己評価・第三者評価を実施してはどうか。

答弁・・・本市の図書館は、開館以来、市民の教養を高めたり、調査研究などに役立つ資料を収集し、提供する施設として、多くの市民に利用されてきた。現在は、平成22年度に策定した大垣市読書活動推進計画に基づき、貸出しサー

ビスのほか、一般成人向けの各種講座、ブックスタートルなどの子どもや家族向けの事業、高齢者や弱視者のための大活字本の収集など、様々な利用者に向けたサービスを拡充し、時代のニーズに対応するため、視聴覚資料や電子書籍の提供にも努めている。平成26年度に大垣市読書活動推進計画を見直す中で、利用者ニーズに対応した新サービスの導入を検討し、くらしに役立つ市民の図書館づくりに努めていく。

安心して安定した水の供給 について

山口和昭

質問・・・豊富な地下水を工業用水として活用した紡績業から新たな産業へと発展する本市を誇りに思う。「水都」らしい大垣の水を「未来へ」を基本理念として、取水設備や水源地の整備も順調な中、給水管路の耐震化と更新等の現況と進捗状況は。

答弁・・・本市の水道事業は、良質で豊富な地下水を水源として、安心して安定した水の供給に努めている。昭和33年に給水を開始して以来、55年が経過し更新時期を迎えた管路が増えるなか、順次、耐震管への更

新を進めており、平成24年度末現在で、主要な管路の耐震化率は33・2%となっている。また、管路の更新と並行して水源地の機能更新、耐震化も進めており、昨年には緑園水源地の第1期工事が完成し運転を開始するとともに、現在第2期工事に着手している。今後も、施設の長寿命化による更新費用の平準化を進めるとともに、維持管理コストの削減を図り、持続可能な水道事業の運営に努めていく。

北部水源地



地域包括ケアシステムの構築について

横山幸司

質問・・・高齢者の医療・介護・介護予防・住まい・配食など、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築にあたり、本市が進めてきた取り組みはどのようなものか。その代表的な事例と、地域ケア会議

の課題は何か。
答弁・・・本市の地域包括ケアシステムの取り組みは、在宅における医療や介護のサービスを切れ目なく提供できるように、医療機関・介護サービス事業者等による研修会などを開催し連携を図るとともに、24時間在宅で介護や看護サービスが受けられる定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備を促進している。

本市独自の地域包括ケアシステムとしては大垣市医師会などと協働し、在宅医療マップを作成しており、県内でも先進的な取り組みとして紹介されている。地域ケア会議の課題及び対策については、ケアマネジャーなどの専門職が様々な困難ケースを解決するための知識の習得や、より高度なケアマネジメント能力を養成することが課題となっており、研修会などで資質の向上を図っている。

徳育の推進について

長谷川つよし

質問・・・通り魔、殺人、いじめ等の事件に青少年が関わることが少なくなく、子ども達の道徳心や規範意識に不安を感じる。こうした時代こそ、感謝や奉仕といった豊かな心や人間性を養う徳育に注力すべきと考え

る。そこで、道徳教育のさらなる充実と家庭、学校、地域が連携した市民総参加による道徳の推進を提言する。

答弁・子どもたちが、人としての在り方や生き方を考え、生涯にわたって心豊かに生きていくためには、道徳教育は重要である。

市内の各小中学校においては、命を大切にする心や他を思いやる心などを育むため、全ての教育活動を通して道徳教育の充実に努めている。

徳育の推進については、全ての小中学校で、親子で取り組む1家庭1ボランティア運動も実施しており、親子のふれ合いが深まるとともに、こうした取り組みが地域に広がり、地域ぐるみの実践活動が推進されるようになってきた。

今後も、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たしながら、三者が一体となって子どもの心を育む道徳教育の充実に努める。

**芭蕉生誕370年祭及び
新年度新規イベント事業
の意義と効果について**

石田 仁

質問・交流のまちづくりの柱である芭蕉生誕370年祭関連事業、西美濃共和国、ツール・ド・西美濃、ソフトボール事業等、財政

が厳しい中での開催意義と費用対効果、継続性等を検討する機能はあるか。また、本年は奥の細道紀行から325年目であり、本市が本来PRすべきはこちらだと思いが、冠を併記する考えはないか。

答弁・芭蕉生誕370年祭事業では、記念シンポジウムをはじめ、18事業を市民協働で実施するとともに、既存の春の芭蕉祭など43のイベント等を記念事業に位置づけて実施する。

なお、奥の細道紀行の周年記念事業については、5年前に320年記念事業として開催しており、今後も全国の関係自治体と連携して節目の年に開催したい。

西美濃共和国については、2市9町が、地域の個性を生かした広域連携を深め、圏域の総合的かつ一体的な発展に向け、圏域内外にアピールしていくことを目的に、本年2月に創立した。

2市9町を自転車で巡るツール・ド・西美濃では、大垣商工会議所、大垣青年会議所、各自治体と協働することにより、サイクリングを通じて地域の魅力を内外に情報発信していく。

ソフトボール事業では、全日本女子代表が本市で合宿を行うため、日本、中国、オーストラリアの3カ国代

表による壮行試合を開催し、スポーツのまち大垣の機運を高めていく。

観光、文化、スポーツ等の各種事業の継続については、効果をしつかり検証し判断していく。

少人数学級について

富田三郎

質問・現在、小学校4年生から6年生と中学校2年生から3年生で少人数学級が導入されていない。少人数学級の推進は、暴力行為、不登校、いじめの減少や、欠席率の低下などに効果が

あると思われる。本市の少人数学級の考えは。

答弁・本市での少人数学級導入については、現在の小・中学校全ての学年に35人の学級編制を導入した場合、小学校では20学級、中学校では11学級が増加し、市単独での教員の採用や給与負担、教室環境の整備等が課題となる。そのため、1学級が30人以上となる学校には学習指導補助講師を配置し、習熟の差が大きい教科では、複数の教師による少人数指導を実施し、一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導を行っている。

今後少人数教育を一層充実するとともに、少人数学級の拡充を県に要望していく。

総合的な都市政策について

粥川加奈子

質問・大垣駅北の工場跡地は、袋小路のような場所であるが、道路計画もされな

いまま大型店舗の出店と約200棟の分譲となった。このような広大で便利な土地の利用や市役所の建て替えなど、都市政策の根幹について市民と議論できる場所や仕組みを構築し、全庁的に取りまとめを行う部署の設置を求める。

答弁・大垣駅北地区については、大規模な民間開発により、周辺地域での交通量の増加が見込まれており、今後の交通状況の実態を確認しながら、北地区の安心、安全の確保のため、関係部局が連携し必要な対策について検討を行っていく。

総合的な都市政策上の課題への対応については、まちづくりの将来像を示す総合計画の策定に際し、全庁的組織を設置し検討するとともに、まちづくりワークショップやまちづくり懇談会の開催など、市民の皆様からのご意見をいただく機会の充実に努めている。

また、喫緊の課題である新庁舎建設においても、市民アンケートの実施、新庁舎建設市民懇話会の開催など、多くの方々から幅広くご意見をいただいている。

大垣駅北口周辺



高齢者向けの成人肺炎球菌ワクチンについて

中田ゆみこ

質問・年間3万人の人が亡くなる肺炎は、日本人の死因の第3位である。肺炎の予防効果が5年間持続する成人用肺炎球菌ワクチンが10月から国の定期接種となる。対象は65歳以上であるが、5歳刻みで高齢者には理解しづらい。公費助成での接種漏れがないよう、対象者には個別通知での周知を要望する。

答弁・成人用肺炎球菌ワクチンは、高齢者がかかりやすい肺炎の感染予防や重症化を防ぐものであり、国においては、予防接種法に基づき市町村が実施する定期予防接種に追加することとなっている。

本市においても、10月からの予防接種の実施に向け、今後、医師会等と調整し、準備に取り組む。

対象者への個別通知については、高齢者の皆様が接種機会を逃すことがないよう、広報おおがきへの掲載、出前講座などでのチラシの配布、医療機関等へのポスターの掲示などとともに検討していく。

安全安心のまちづくりへの提案

野田のりお

質問・超高齢化社会、人口減少社会の到来で、危険物になりかねない空き家や空き地が問題になっていく。対応には時間がかかるため、岐阜市では、空き家等の管理に関する条例の制定が予定されており、本市も早急に条例の制定に向けた研究会の立ち上げを要望する。

答弁・空き家対策として、市民の皆様や自治会などからの通報や相談があった場合に、建物の安全性や美しさをまちづくり、防火、防犯の観点から関係各課が連携し、現地確認を行い、必要に応じて所有者に文書で建物等の適正な維持管理について指導している。指導は建築基準法や安全安心まちづくり条例などの規定により行うが、改善に対する強制力がないのが現状である。このような状況の中、国における法制化の動きが報

道され、県では、平成25年度に、市内に岐阜県空き家等対策庁内連絡会議を設置し、今後は、倒壊の恐れのある空き家についての課題の整理、対応指針の策定など行っていくと伺っており、国や県の動向を注視しながら、関係各課が連携し、調査研究を進めていく。

質問…人事に関して、市長在任が長期であるかどうか、でも人事も好みになりがち、停滞することも事実である。公平・公正で本人、家族にも判り易い方法が取られるべきであり、市民側にも適正な人事は欠かせない。仕事をしない、出来ない職員は昇格させてはいけない。公平・公正な昇格試験の実施を強く望む。

答弁…人事異動については、組織の充実、活性化を図るため、職員の能力、知識、経験年数などを考慮して適正に行っている。また、人事評価については、勤務評定制度を導入しており、年2回、前期の評定及び年間の評定を実施している。これにより、上位の職責を果たし得る能力、知識、経験等を持った優秀な人材を登用できると考えている。

適正・公正な人事について
富田せいじ

平成26年第1回定例会 議案審議結果一覧

全会一致で可決された議案

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議第2号	平成26年度大垣市物品調達会計予算	議第29号	大垣市基金条例の一部改正について
議第3号	平成26年度大垣市公共用地先行取得事業会計予算	議第30号	大垣市社会教育委員条例の一部改正について
議第4号	平成26年度大垣市交通災害共済事業会計予算	議第31号	大垣市スイトピアセンター条例の一部改正について
議第5号	平成26年度大垣市国民健康保険事業会計予算	議第33号	大垣市国民健康保険条例の一部改正について
議第6号	平成26年度大垣市国民健康保険直営診療施設事業会計予算	議第34号	大垣市障害程度区分認定審査会の委員の定数を定める条例等の一部改正について
議第7号	平成26年度大垣市後期高齢者医療事業会計予算	議第35号	大垣市障害者福祉年金条例の一部改正について
議第8号	平成26年度大垣市介護保険事業会計予算	議第36号	大垣市立保育所設置条例の一部改正について
議第9号	平成26年度大垣市簡易水道事業会計予算	議第37号	大垣市育英資金助成に関する条例の一部改正について
議第10号	平成26年度大垣市市行造林事業会計予算	議第38号	大垣市景観条例の一部改正について
議第11号	平成26年度大垣市公設地方卸売市場事業会計予算	議第39号	大垣市道路占用料徴収条例の一部改正について
議第12号	平成26年度大垣市公共下水道事業会計予算	議第40号	大垣市準用河川流水占用料等徴収条例の一部改正について
議第13号	平成26年度大垣市特定環境保全公共下水道事業会計予算	議第41号	大垣市消防団条例の一部改正について
議第14号	平成26年度大垣市農業集落排水事業会計予算	議第42号	大垣市福祉施設等徴収金助成条例の廃止について
議第15号	平成26年度大垣市駐車場事業会計予算	議第43号	平成25年度大垣市病院事業会計資本剰余金の処分について
議第17号	平成26年度大垣市牧田財産区会計予算	議第44号	大垣市名誉市民の称号を贈り、名誉市民章を授与することについて
議第18号	平成26年度大垣市一之瀬財産区会計予算	議第45号	大垣市功労章を授与することについて
議第19号	平成26年度大垣市時財産区会計予算	議第46号	大垣地域公平委員会委員の選任について
議第20号	平成26年度大垣市病院事業会計予算	議第47号	大垣市固定資産評価審査委員会委員の選任について
議第21号	平成26年度大垣市水道事業会計予算	議第48号	大垣市牧田財産区管理委員の選任について
議第22号	平成25年度大垣市一般会計補正予算（第4号）	議第49号	大垣市一之瀬財産区管理委員の選任について
議第23号	平成25年度大垣市公共下水道事業会計補正予算（第2号）	議第50号	大垣市時財産区管理委員の選任について
議第24号	平成25年度大垣市水道事業会計補正予算（第2号）	市議第1号	患者数が特に少ない希少疾病用医薬品（ウルトラ・オーファンドラッグ）開発促進・支援のための法整備等を求める意見書
議第25号	大垣市職員の修学部分休業に関する条例等の一部改正について	市議第2号	食の安全・安心の確立を求める意見書
議第26号	大垣市に常時勤務を要する特別職の給与の特例に関する条例の一部改正について	市議第3号	微小粒子物質（PM2.5）に係る総合的な対策の推進を求める意見書
議第27号	大垣市職員の給与に関する条例の一部改正について	市議第4号	雇用の安定を求める意見書
議第28号	大垣市特別会計条例の一部改正について		

賛否が分かれた議案

議案番号	議案名	議決結果	議会内統一党派											議会内統一党派												
			自民クラブ											市議会公明党	民主ネットクラブ	市民ネットワーク	日本共産党	市民クラブ	市民政							
			林 新太郎	石田 仁	田中 孝典	高畑 正	高橋 滋	岩井 哲二	石川まさと	岡本 敏美	川上 孝浩	小川 文康	日比野芳幸	山口 和昭	横山 幸司	中田ゆみこ	鈴木 陸平	丸山 新吾	粥川加奈子	野田のりお	岡田まさあき	長谷川つよし	笹田トヨ子	富田 三郎	富田せいじ	
議第1号	平成26年度大垣市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第16号	平成26年度大垣市競輪事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第32号	大垣市老人医療費助成金条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=賛成、×=反対 議長は採決に加わらないため、斜線としています。

◆本会議・委員会の会議録がご覧いただけます。

本号に掲載された質問・答弁等の詳しい内容については、図書館、市政情報コーナー、市議会ホームページなどでご覧いただけます。（発行・掲載予定5月下旬）

ホームページは

あなたも本会議を傍聴してみませんか。

次回定例会 6月上旬開会予定

詳細は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局／電話 47-8073